



# 五小だより

URL <https://e-itsukaichi-akiruno.edumap.jp>

TEL 596-0017 FAX 595-1611

5月号 令和8年5月15日

あきる野市立五日市小学校

校長 縦山 雄三



五日市小日記に  
転送されます

5月は運動会！ 6月はふれあい月間！

校長 縦山雄三

秋川溪谷が新緑に包まれ、鳥のさえずりが心地よい季節となりました。新年度が始まり1か月、学校では子供たちの温かな関わりが多く見られます。学校探検では2年生が1年生を優しくリードし、学校公開では6年生が1年生に校歌を丁寧に教えてくれました。ご家族の皆様にも一緒に声を掛けていただき、子供たちは自然と校歌を口ずさむほど覚えることができました。上級生や地域の温かさを感じ、大変うれしく思います。

学校公開のアンケートでは、多くの励ましのお言葉とともに、貴重なご意見もいただきました。今後の教育活動に生かしてまいります。

さて、5月に入り運動会練習が始まりました。1年生は初めての広い校庭での徒競走や表現運動に挑戦します。2年生以上は日頃の努力の成果を発揮し、6年生は小学校最後の運動会として鼓笛隊の伝統をつないでくれることと思います。子供たち一人一人の力を引き出し、笑顔あふれる運動会となるよう取り組んでまいります。運動会に向けて御理解・御協力をお願いいたします。

また、6月はふれあい月間です。「ふれあい月間」とは、東京都教育委員会が6月・11月・2月に設定しており、いじめや暴力行為、不登校などの問題行動の早期発見・早期対応、未然防止を目的としています。また、子供たちが互いに認め合い、安心して学校生活を送れるよう、心のふれあいを大切に活動を進める期間です。

学校経営方針及びグランドデザインにもありますように、「自己指導能力」の育成のため学級活動を基盤とした生活指導及び特別活動の充実を図ります。また互いを認め合い・高め合えるために、人権教育を重視した授業に取り組むとともに、日常からいじめ未然防止や早期発見・対応に取り組んでまいります。

## 児童のSNS利用の際のお願い

学校では、「児童間のグループLINEやグループメール」は必要ないと考えています。ご家庭の考えで児童間のグループLINE等をする際には、まず、保護者間で、課題が発生した場合の解決方法の仕組みを整え、保護者の責任の下、実施をお願いいたします。

また、児童が安全に使うため、グループ以外の児童の情報等、相応しくないやりとりがないよう、保護者による定期的な確認をお願いいたします。

これからも、児童が安全かつ有効にSNSを活用できる大人になるようご家庭での支援をよろしくお願いいたします。

## ◇6月の行事予定

1日(月) 振替休業日(運動会)	16日(火) たてわり
2日(火) ふれあい月間始 安全指導 心臓検診欠席者	17日(水) B時程
3日(水) B時程 4時間授業 交通安全教室 (1,2)	18日(木) 体力テスト
4日(木) 交通安全教室(3,4) たてわり打合せ 家庭学習強化週間始(6/10まで)	19日(金) 月曜時間割
5日(金) B時程 交通安全教室(5,6) 委員会 応急救護訓練(5)	22日(月) 朝会 1年5時間授業始 側わん検査(5) 水道キャラバ ン(4)
8日(月) B時程 朝会 プール清掃(6)	23日(火) 移動教室説明会(6)
9日(火) 社会科見学(3)	24日(水) B時程 読み聞かせ 避難訓練
10日(水) B時程 読み聞かせ ニハバン出張授業 (4)	25日(木) 集会(集会委員会)
11日(木) 社会科見学(6) 水泳指導始	26日(金) B時程 クラブ
12日(金) B時程 クラブ	29日(月) 朝会
15日(月) 朝会	30日(火) 健康診断終 ふれあい月間終 側わん欠席者

### <五日市音頭へのご協力、ご参加の御礼>

4月25日(土)に地域理解教育の一環として五日市音頭を踊りました。以前は運動会の中で五日市音頭の時間があり、踊っていました。近年の運動会プログラム構成の変更や行動様式の変化に伴い、五日市音頭を踊る機会の減少があり、どこかで開催できないかとのご意見をもとに今回の実施となりました。学校としての準備が不足する中で、ご心配をおかけしたりご意見をいただいたりしております。今回いただいたご意見を真摯に受け止め、これからの教育活動を進めてまいります。ご協力いただいた、佳月会の皆様、地域の皆様、ご参加いただいた保護者の皆様ありがとうございました。

### <離任式を実施しました>

5月1日(金)に離任式を実施しました。昨年度までお世話になった4名の先生方が来校されました。

皆様、それぞれの場でご活躍されている様子を聴くことができ体育館中が、懐かしい気持ちであふれました。1学年進級した子供たちの成長も感じられてあたたかい気持ちになる離任式となりました。

今後の先生方の更なるご活躍を願っております。

### <香害への理解とご協力のお願い>

近年、洗剤や柔軟剤などの香料により、頭痛や吐き気、化学物質過敏症などの健康被害を引き起こす「香害」が社会的な課題となっています。学校は、多様な体質の児童が共に生活する場です。自分にとっては心地よい香りが、隣の席の友人にとっては体調を崩す原因になる可能性があることを、ぜひご理解いただければ幸いです。特に、全児童で共有する「給食の白衣」については、付着した香料が原因で体調を崩したり、家庭での洗濯で香り移ることを不安に感じたりするケースのご連絡もいただいております。

そこで本校では、お子様の健康を守り、安心して学校生活を送れるよう、以下の通り対応いたします。

- 学校の白衣を使用することに不安や困難がある場合は、ご家庭から「エプロン・三角巾」を持参して使用しても構いません。

誰もが健やかに過ごせる学校環境づくりのため、柔軟剤等の使用量の目安を守るなど、周囲への温かな配慮にご協力をお願い致します。

### <児童の登下校に関するお知らせ>

登下校時の児童の通用門として、スクールバス駐車場横の門を通過して登下校しておりましたが、安全性を高めるために校庭側から登校する児童は、**正門と西門の使用に限定すること**としました。現在、警察、市、学校で連携し子供が安全に登下校するため新規に横断歩道やグリーンベルトを設ける案等の検討を進めております。しばらくの間は、教員も安全指導に立ち、見守りを継続していきます。

給食センター側からの登校は今まで通りで大丈夫です。

また、送迎車が増加しております。それぞれのご事情があるところではありますが、雨天時の8時頃の校庭前は渋滞ができる状態にあり危険が増加しています。全校児童の安全にご配慮いただけるよう引き続きご協力お願い致します。



この門を登下校では使用しませ

# SNS に気を付けて

生活指導部

4月中旬、あきる野市内の小中学校生活指導担当者の集まりがありました。その中で、こんな話題が出ました。【放課後のSNS上でのやりとりで児童同士がトラブルになった】【SNS上でのトラブルが増えている】

小学生の間でも、SNS (Instagram、LINE、YouTube、など) の利用が広がっています。全国でも次のようなトラブルが実際に発生しているそうです。

- ・他の子の名前を出し、悪口やうその投稿
- ・「死ね」「キモイ」などの暴力的、差別的な言葉の使用
- ・「いいね」や返信が来ないことでのストレスやトラブル
- ・相手の写真や個人情報(名前、住所、学校名)を勝手に拡散
- ・SNS上で知り合った人とのやり取り
- ・グループでの排除や誹謗中傷
- ・自撮り写真や動画の不適切な投稿

軽い気持ちでやったこと、何気ない一言が人を深く傷つけることがあります。たとえ子どもであっても、賠償責任の対象になることがあるそうです。一度投稿した内容は、削除しても完全には消えません。インターネット上に一度公開された情報(文章、画像、動画など)は、時間がたっても消去が難しく、半永久的に残ります。

そこで、SNSを使用する際には、

- ①使用ルールを決める。(時間、場所、内容を家庭内で明確にする。)
- ②内容を一緒に確認する。(タブレットやスマートフォンの使用状況を一緒に確認する。)
- ③問題が起きたら、すぐ親に相談する。

などの約束を子どもと決めることが大切です。

しっかりとお子様と話し合い、トラブルや問題に遭遇しないように気を付けていきましょう。

## 【特別支援コーディネーターより】

◆ SNSが「特に難しい」子どもたちがいます。

次のようなことが気になるお子さんは、SNSでのやりとりに特別な難しさを感じていることがあります。

① 衝動性が高い(思ったことをすぐ投稿してしまう)

→ 「送る前に一度考える」ということが、意識していてもとても難しい場合があります。

② 相手の気持ちを読み取ることが苦手

→ 文字だけのやりとりでは、冗談・本気・怒り・悲しみの区別がさらに難しくなります。

→ 「悪口のつもりはなかった」「遊んでいるつもりだった」が、相手を傷つける場合があります。

③ 言葉を字義どおりに受け取る

→ 「死ね」「キモイ」などの言葉を、冗談と受け取れず深く傷ついてしまうことがあります。

④ 人とのつながりをとても大切にしている

→ 「既読スルー」「グループから外れる」ことを必要以上に深刻に受け取り、強い不安につながる場合があります。ルールを決める際は、「夜 9 時以降はリビングで充電」「送る前に声に出して読む」など、行動レベルで具体的に決めると伝わりやすくなります。また、「悪いことはしない」ではなく、「○○という言葉は相手が悲しむから使わない」と、理由をセットで伝えることが大切です。

気になることがあれば、担任・養護教諭・コーディネーターにお気軽にご相談ください。